

理科	2 年	年間 1 4 0 時間（4 時間/週）
----	-----	---------------------

1 年間計画

学期	月	単元	章（小単元）
1 学期	4	化学変化と原子・分子	第 1 章 物質のなり立ち
	5		第 2 章 物質どうしの化学変化
	6		第 3 章 酸素がかかわる化学変化
	7		第 4 章 化学変化と物質の質量 第 5 章 化学変化とその利用 ○探究活動 ・パフォーマンス課題 ○単元の振り返り
2 学期		生物のからだのつくりとはたらき	第 1 章 生物と細胞
	8		第 2 章 植物のからだのつくりとはたらき
	9		第 3 章 動物のからだのつくりとはたらき
	10		第 4 章 刺激と反応 ○探究活動 ・パフォーマンス課題 ○単元の振り返り
		天気とその変化	第 1 章 気象の観測
	11		第 2 章 雲のでき方と前線
	12		第 3 章 大気の動きと日本の天気 ○探究活動 ・パフォーマンス課題 ○単元の振り返り
3 学期	1	電気の世界	第 1 章 静電気と電流
	2		第 2 章 電流の性質
	3		第 3 章 電流と磁界 ○探究活動 ・パフォーマンス課題 ○単元の振り返り

2 学習評価

観点	評価規準	評価の方法	
		形成的評価(日々)	総括的評価(通知表)
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	☐ ノートやデジタル成果物 ☐ eライブラリ ☐ 小テスト	☐ 定期テスト ☐ 実力テスト ☐ 単元末テスト ☐ 小テスト
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	☐ 観察、実験レポート ☐ ノートやデジタル成果物 ☐ 学級やグループでの発言	☐ パフォーマンス課題 ☐ 定期テスト ☐ 単元末テストの探究的問題
主体的に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	☐ 授業での発言やつぶやき ☐ 振り返り	☐ パフォーマンス課題 ☐ ワークシートの工夫 ☐ 自由研究等の自主的な研究成果物(加点) ☐ ワークへの取組

○形成的評価…日々の学習において、成果(できたこと)や課題(できなかったことや次に目指すこと)をつかみ、復習したり次の学習に課題をもって取り組んだりするための評価

○総括的評価…各学期や年間をととしての学習の成果がどの程度であったかを示す評価

○通知表の評定について…3観点を総括して、5～1の5段階で示す

3 学習のポイント

○教科書(「新しい科学2」(東京書籍))、ノート、ワークを毎時間準備します。

○ノートは、B5版のノートを準備してください。

○授業は、理科室か学級教室で行います。学習係は、前日に教科担任に確認をして学級で連絡してください。

○基礎的な知識を身に付けるためには、教科書に書かれていることを読み取ることが大切です。予習として、授業で学習する内容の「問題」は何か、その問題を解決するためにどのような「見通し」をもてばよいのかなどを読み取ることが望ましいです。教科書のキャラクターのつぶやきを参考にするとよいでしょう。

○学んだことを定着させるためには、復習することが効果的です。eライブラリには、たくさんの教材が用意されていますので、タブレットを使って家庭学習等に取り組むことができます。自分の課題に応じた問題等に取り組むことが望ましいです。

○各単元末や小単元末に、パフォーマンス課題を位置付けています。探究的な課題に取り組みレポートを作成したり、探究的な問題(授業で学習した内容を活用する問題)のテストに挑戦したりします。総括的評価の「思考・判断・表現」は主にパフォーマンス課題で評価します。